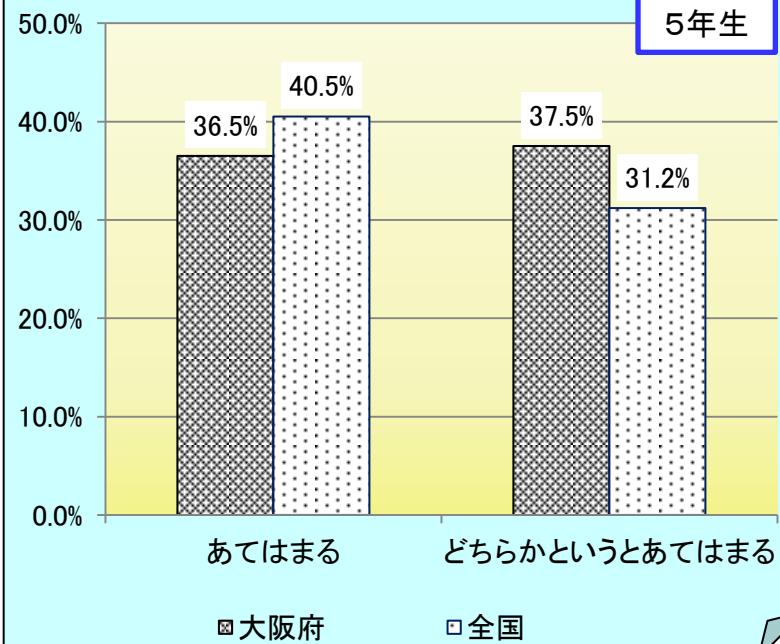
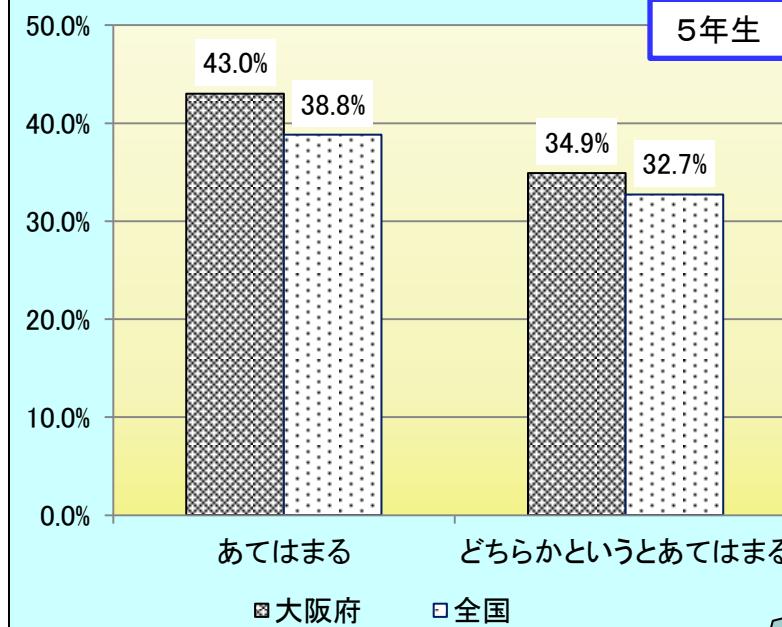


平成24年度末に「使える英語プロジェクト事業」実践研究校すべてで、質問紙調査(児童アンケート)を実施しました。各グラフはその結果の概要を示したものです。英語に対する興味・関心や学習意欲は文部科学省が実施した全国的な調査の結果からみて、小学校5年生、6年生ともに概ね良好な結果となっています。

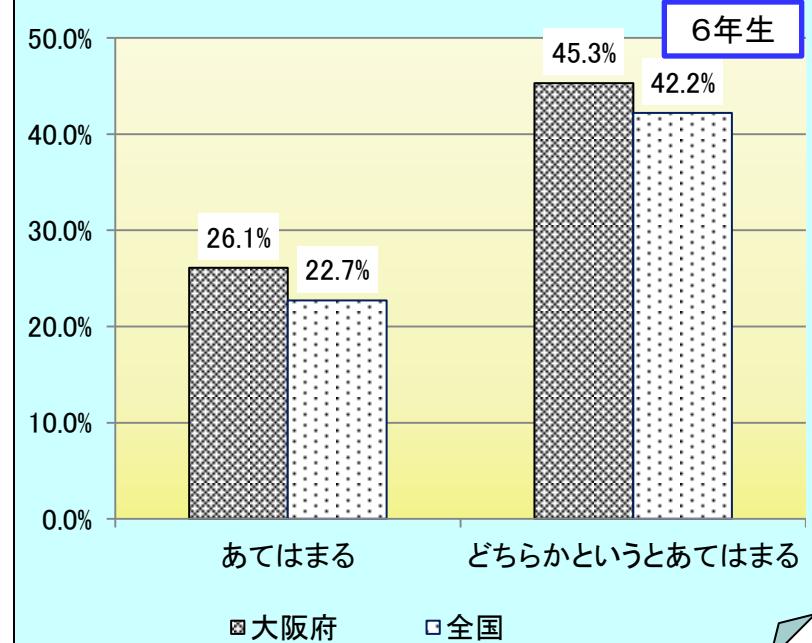
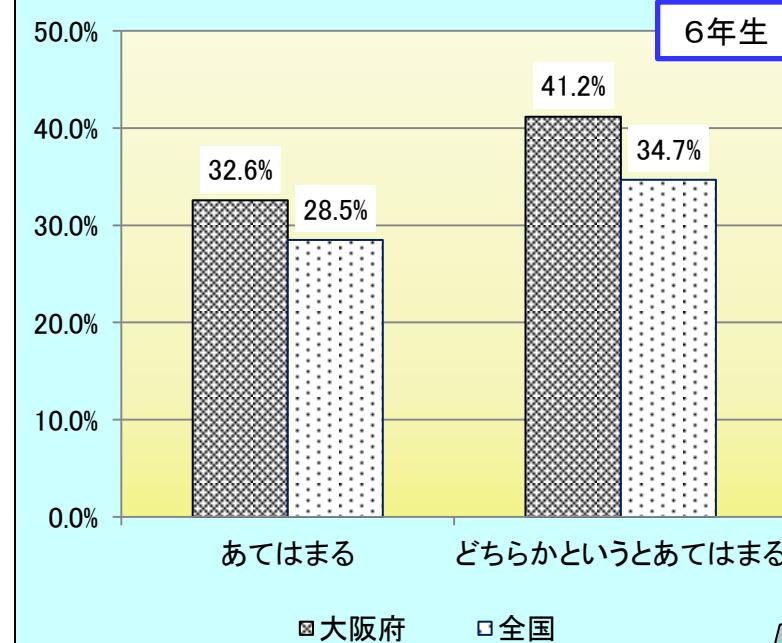
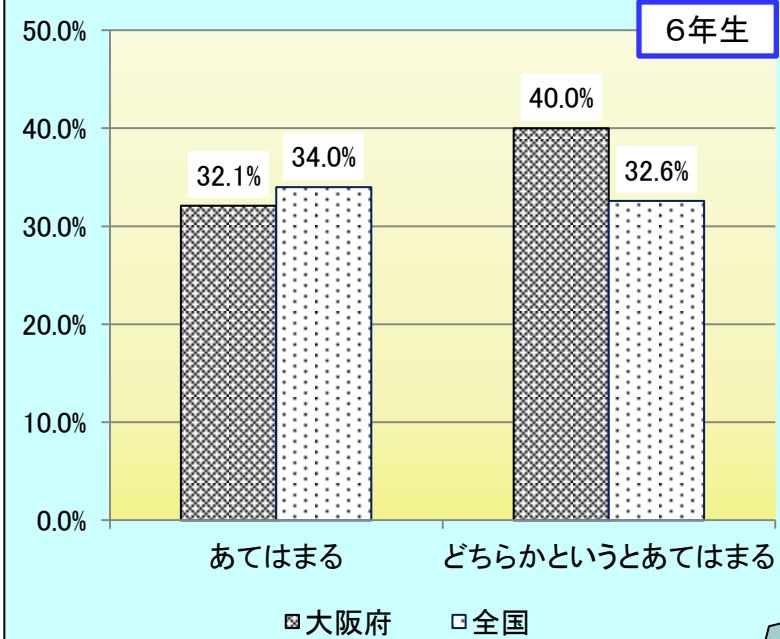
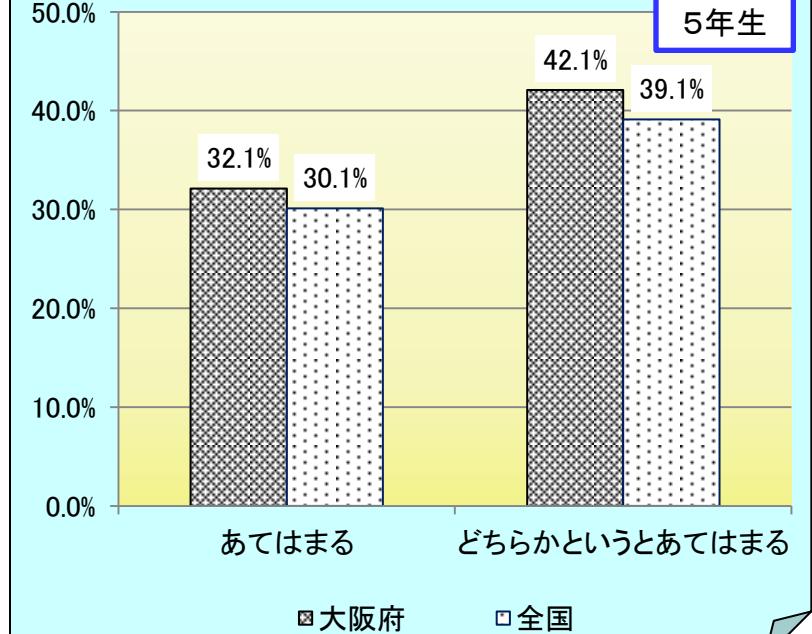
## Q1 英語は好きだ



## Q2 外国語活動の授業は好きだ

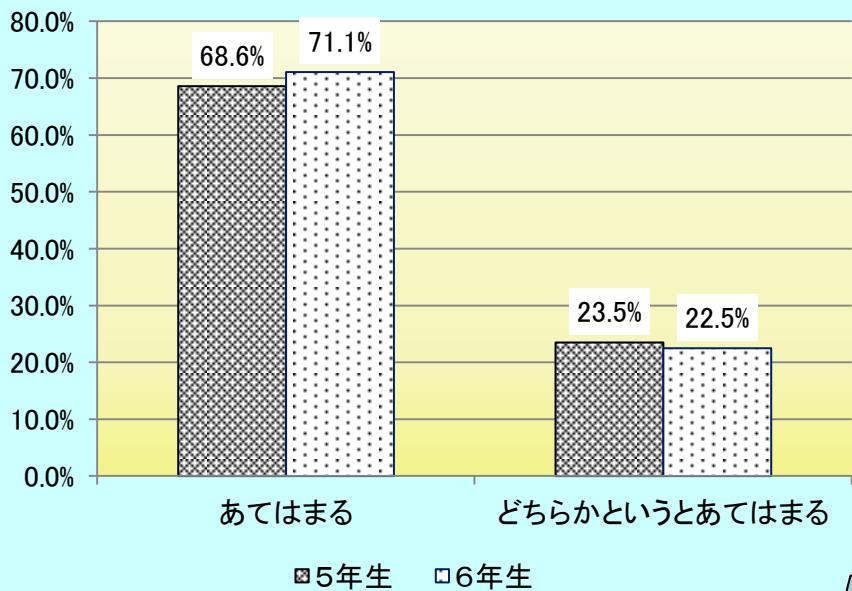


## Q3 積極的に授業に参加している



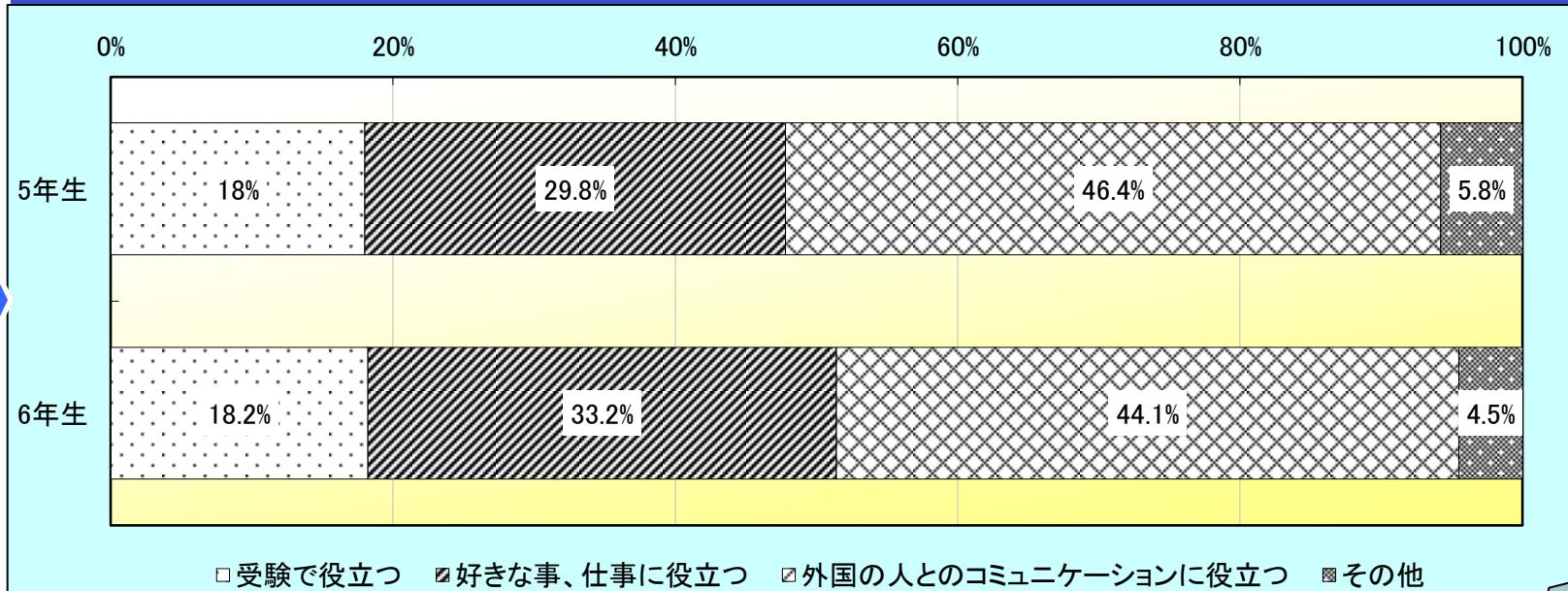
「英語が使えるようになること」に対する肯定感については、各学年ともに概ね良好な結果となっています。「英語が大切と思う」と答えた理由については、6年生に比べ5年生の方が「コミュニケーションに役立つ」と回答している割合が多く、「将来英語が必要」と答えた理由については、5年に比べ6年生の方が「好きな事、仕事に役立つ」と回答している割合が多くなっています。

## Q4 英語が使えるようになることは、大切だと思う

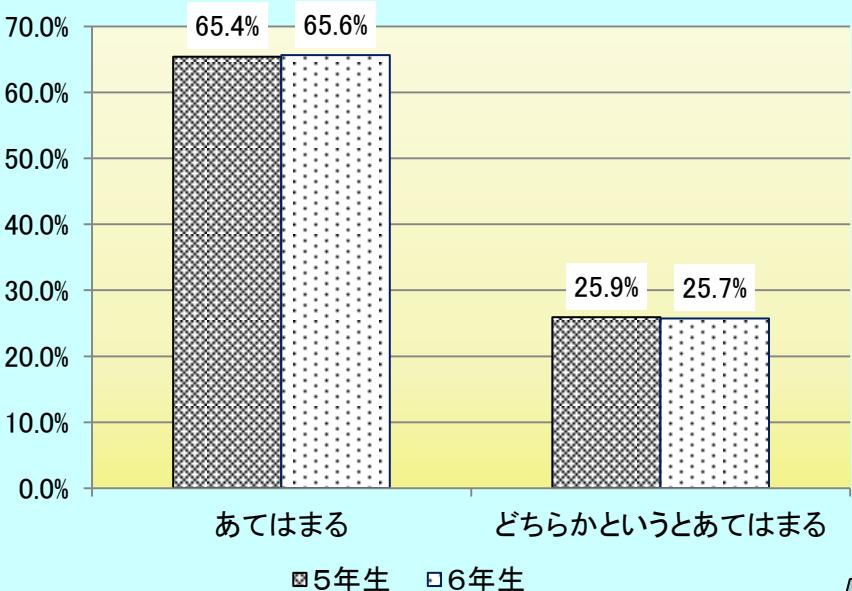


## Q5 英語が使えるようになることは、大切だと思う理由を1つ回答して下さい。

\* Q4で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童が回答



## Q6 英語が使えるようになることは、将来、必要だと思う



## Q7 英語が使えるようになることは、将来、必要だと思う理由を1つ回答してください

\* Q6で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童が回答

